



公約実現!! 空母艦載機が 岩国に移駐へ 甘利明議員 長年の努力が結実



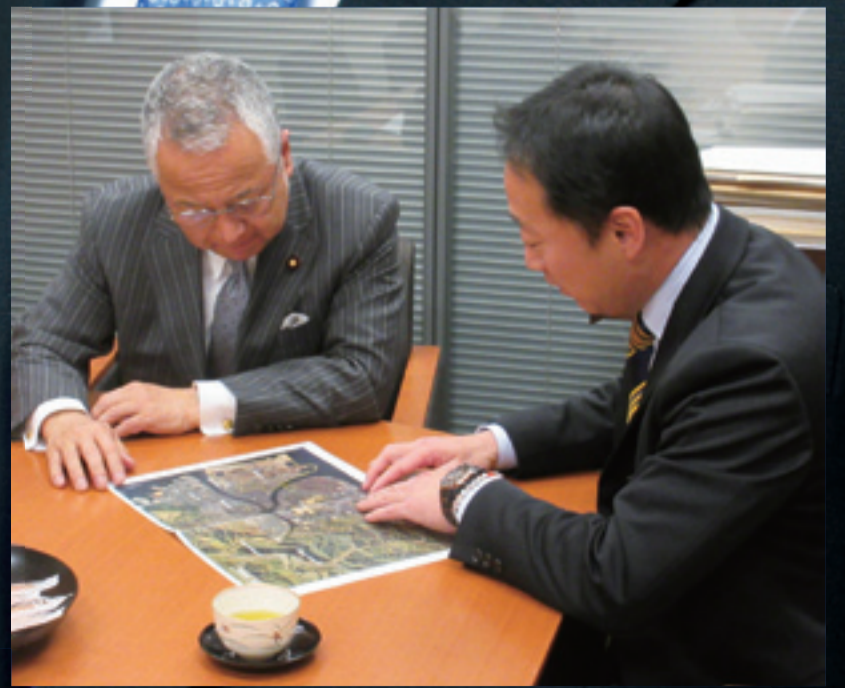
厚木基地の米空母艦載機(61機)が海上に面する岩国基地(山口県岩国市)に移駐することになった。

甘利明衆議院議員が住民の願いを胸に30年にわたって取り組んだ騒音の負担解消が結実する。

井上孝俊大和市長時代にNLP(空母の夜間離着陸訓練)訓練基地を硫黄島に設置することにこぎ着けましたが、艦載機部隊そのものは厚木基地に置かれたため離着陸騒音の抜本解決には至らず、安倍晋三幹事長(当時)と協議の上、岩国基地での受け入れの理解を育んできました。山口県選出の衆議院議員を敢えて辞して岩国市長に就任した福田良彦市長の国防に対する理解と懸命な努力、また岩国市民の温かいご理解もあり、沖縄の基地負担軽減と抑止力維持のための空母艦載機部隊の移駐が実現しました。今後1年余りかけて移駐が完了いたします。

衆議院議員

甘利明氏



福田良彦岩国市長が上京の際には、甘利明議員と何度も意見交換を行った

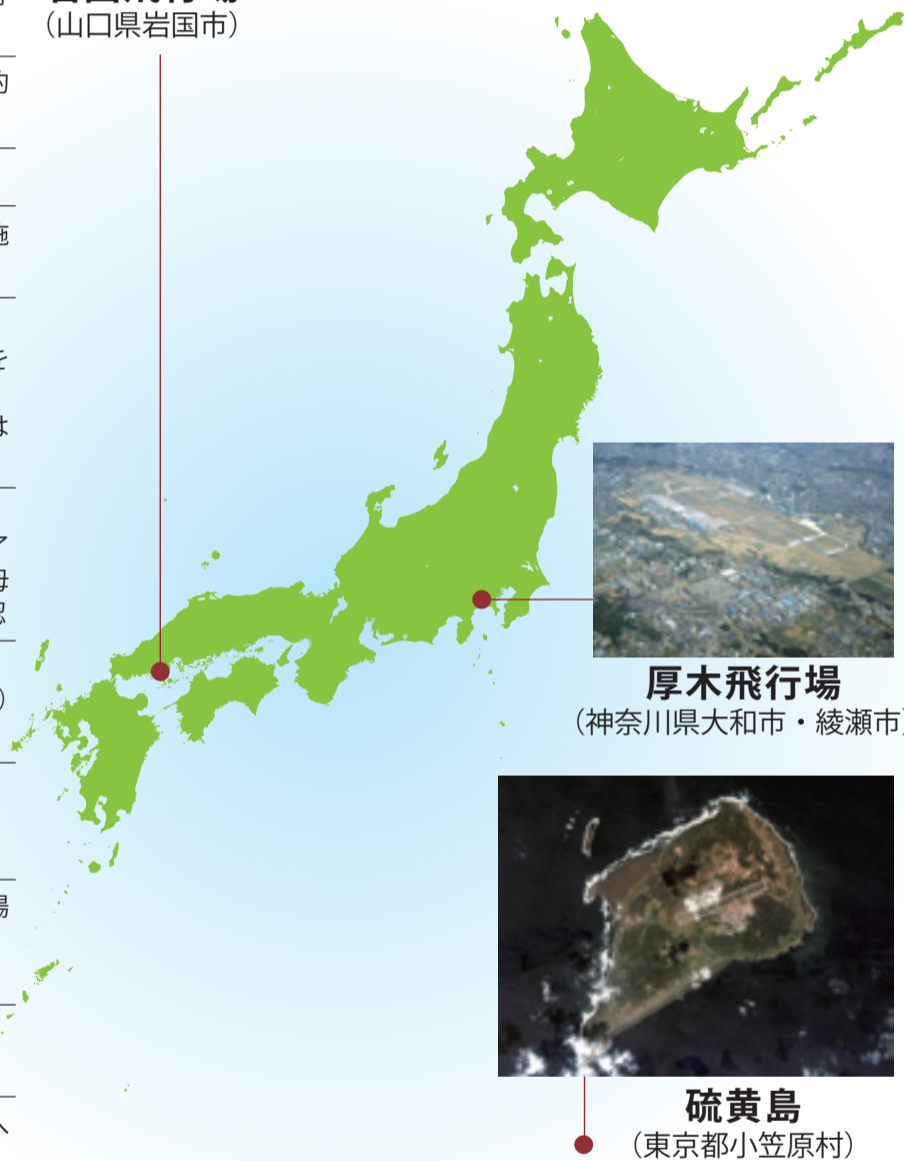
甘利 明 ついに課題解決 住みよい町へ環境改善

移駐までの経緯

- 昭和48年10月** 空母ミッドウェイが横須賀海軍施設に入港し、同空母の艦載機による夜間着陸訓練(NLP)が三沢・岩国両飛行場において実施されるようになる
- 昭和57年2月** 厚木海軍飛行場でNLPが実施されるようになる
米側からNLP代替施設を厚木海軍飛行場から100海里(約180km)以内に確保するよう要請を受ける
- 昭和58年度～昭和61年度** NLP代替施設建設の適地調査を実施(三宅島を選定するが、地元調整が難航)
- 昭和63年4月** 三宅島に代替施設が設置されるまでの間、硫黄島の暫定使用を米側に申し入れ
- 平成元年1月** 硫黄島を暫定使用することについて、米側との間で基本的了解に達する
- 平成3年8月** 硫黄島において初のNLPが実施される
- 平成5年** 施設整備が概ね完了し、硫黄島において本格的なNLPが実施されるようになる
- 平成18年5月** 「再編実施のための日米のロードマップ」が示される
 - 厚木飛行場から岩国飛行場への空母艦載機の移駐を平成26年までに完了する
 - 恒常的な空母艦載機着陸訓練施設を平成21年7月またはその後のできるだけ早い時期選定することを目標とする
- 平成25年10月** 日米安全保障協議委員会(「2+2」)共同発表
KC-130の移駐に関する協議を加速し、可能な限り速やかに完了させること、海上自衛隊が岩国に維持されること、第5空母航空団の諸部隊の移駐が平成29年頃までに完了することを確認
- 平成29年6月** 岩国市長が艦載機移駐の受け入れを表明(6/23)
周防大島町長、和木町長が艦載機移駐の受け入れを表明(6/27)
山口県知事が艦載機移駐の受け入れを表明(6/30)
- 平成29年早ければ7月以降、空母ロナルド・レーガンが横須賀に寄港する時期** 移駐開始
- 平成29年11月頃** FA-18(スーパーホーネット)の2部隊が先行して岩国飛行場へ移駐予定
(今後の米側の運用により変更があり得る可能性がある)
- 平成30年1月頃** EA-18G及びC-2の部隊が岩国飛行場へ移駐予定
(今後の米側の運用により変更があり得る可能性がある)
- 平成30年5月頃** FA-18(スーパーホーネット)の残り2部隊が岩国飛行場へ移駐予定
(今後の米側の運用により変更があり得る可能性がある)



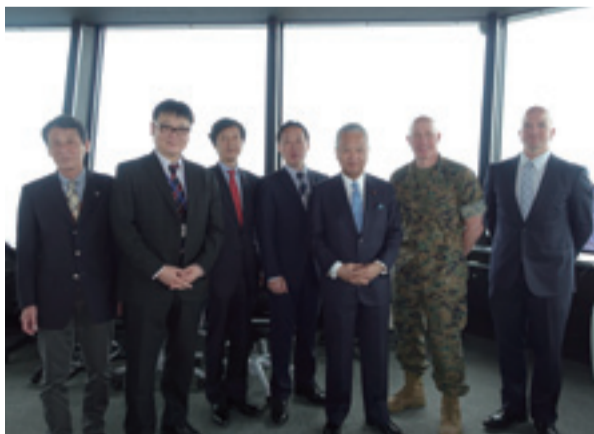
岩国飛行場
(山口県岩国市)



厚木飛行場
(神奈川県大和市・綾瀬市)



硫黄島
(東京都小笠原村)



福田良彦岩国市長、米海兵隊岩国航空基地司令リチャードF.ファースト大佐と岩国飛行場の管制塔から基地を視察



艦載機移駐に伴い家族住宅、運動施設エリア(岩国市と共同使用、市民が自由に使える施設)が建設中の愛宕山地区の建設状況を福田良彦岩国市長より説明を受ける(いわくに消防防災センターにて)



急ピッチで整備が続く愛宕山地区運動施設エリア(いわくに消防防災センターより)

自由民主党神奈川県第十三選挙区支部 支部長 甘利 明 〒242-0028 神奈川県大和市桜森 3-6-14

TEL 046 (262) 2200 FAX 046 (261) 8939 <http://www.amari-akira.com> E-mail office@amari-akira.com